

**参加無料**  
事前登録制

**「野菜の日（8月31日）」Web シンポジウム**



# もっと野菜を食べよう!

## ～若い世代の摂取量を増やすために～

**2022年8月31日（水）16:00-18:20**

8月31日は、野菜「8(ヤ)3(サ)1(イ)」の日です。野菜は、ビタミン、ミネラル、食物繊維等が豊富に含まれ、私たちにとって重要な食べ物です。しかし、成人1人1日当たりの野菜の摂取量は平均280g程度で、約7割の人が目標の350gに達しておらず、特に20～40歳代で不足が目立っています。

そこで、8月31日の野菜の日に、最新データに基づいた野菜の重要性について基調講演を行うとともに、若い世代の摂取量を増やすための方策等について多様な方々とともに議論し、理解を深めたいと考えています。

今回はスペシャルゲストとして、野菜を中心に農業に取り組んでいる俳優の工藤阿須加さんにもご登壇いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

### 登壇者プロフィール

(敬称略)



▶ **瀧本 秀美** (国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部長) 産婦人科専門医。厚労省の「日本人の食事摂取基準」、「国民健康・栄養調査」、「妊産婦のための食生活指針」の改定等に携わる。厚労省の「自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会」の構成員。2015年から現職。



▶ **工藤 阿須加** (俳優) 1991年生まれ。2012年俳優デビュー。近年ではBS-TBS「武士とその妻」、CX系「テッパチ!」、WOWOW「鶴頭川村事件」に出演。農業への関心も高く、現在NTV「有吉ゼミ」内コーナー「工藤阿須加の楽しい農園生活」、BS朝日「工藤阿須加が行く 農業始めちゃいました」に出演し、自身でも有機農業について学んでいる。



▶ **網野 孔介** (足立区 衛生部 ころとからだの健康づくり課長) 2007年足立区に入区。温暖化対策課、環境保全課、生活衛生課を経て郷土博物館長、観光交流協会事務局長を歴任。現在はころとからだの健康づくり課長として「住んでいるだけで自ずと健康になれるまち」を目指し、あだちベジタベライフ～そうだ野菜を食べよう～を推進。



▶ **尾花 明** (聖隷浜松病院 眼科部長) 浜松医科大学客員教授、大阪公立大学客員教授、島根大学医学部臨床教授。医学博士。眼科専門医。日本レーザー医学会理事。専門分野は網膜疾患の診断・治療。臨床の傍ら網膜の光酸化ストレス障害等を研究し、近年はコロナノイドがもつ加齢黄斑変性の予防効果に注目して野菜摂取の重要性を普及・啓発している。



▶ **早乙女 晴子** (味の素(株) 営業戦略部 戦略推進グループ シニアマネージャー) 1988年味の素(株)入社。家庭用油脂製品の開発担当後、お客様相談部門に18年間在籍。2016年からお客様相談室長、2020年より現職。事業を通じた食と健康の課題解決に向けた施策の推進と国内栄養広報を担当。管理栄養士。



▶ **里井 真由美** (フードジャーナリスト) 1級フードアナリストや野菜ソムリエなど食に関する15の資格を有しTV出演多数。日本・世界を食べ歩き、スイーツは年間6,000種以上、デパ地下グルメやお取り寄せも詳しい。(一社)日本飲食団体連合会理事、農林水産省 食料・農業・農村政策審議会委員としても活躍中。

### プログラム

(敬称略)

#### ▼ 基調講演

#### 「日本人の野菜摂取量の現状と課題」

・瀧本 秀美 (国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部長)

#### ▼ 対談

#### 「工藤阿須加が語る 農業を通じて感じること」

・工藤 阿須加 (俳優)

・今野 聡 (農林水産省 農産局 園芸作物課長)

#### ▼ パネルディスカッション

#### 「若い世代の野菜摂取量を増やすために」

(50音順)

・網野 孔介 (足立区 衛生部 ころとからだの健康づくり課長)

・尾花 明 (聖隷浜松病院 眼科部長)

・工藤 阿須加 (俳優/生産者)

・早乙女 晴子 (味の素(株) 営業戦略部 戦略推進グループ シニアマネージャー)

・里井 真由美 (フードジャーナリスト)

・瀧本 秀美 (国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部長)

(モデレーター)

・野島 夕紀 (農林水産省 農産局 園芸流通加工対策室長)

▶ 開催方法: ZoomによるWeb開催となります。

▶ 参加登録方法: 次のURL又は2次元バーコードから事前に参加登録をお願いいたします。

▶ 申込締切: 8月29日(月) 17時 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/ryutu/20220801.html>

※ 1 アクセス数に限りがあることから、お申込み多数の場合は申込締切前であっても参加申込みを締め切らせていただきます。

※ 2 お申込みによって得られた個人情報は、厳重に管理し、本シンポジウムの運営のみに使用させていただきます。

